



広報かわぐち

新年特集号
No.30

発行人 川口町公民館長 清保科
編集人 桜井兵治



吟詠会 会員募集

飲酒運転防止対策に対する 提言募集

県は、一月十三日に新潟県民会館で「交通安全研究大会」を開催します。そこでこの大会で討議する内容を、ひろく県民に呼びかけて募集することになりましたので、町民のみならずふるって応募していただきたいと思ひます。

◎テーマは

- 昭和五十一年スローガン決定
- ことば向け
- とび出すな 車のあとに また車
- 歩行者向け
- 危いと 子をしかるより 手をひこう
- 運転者向け
- 運転者が 示すあなたの お人柄

「飲酒運転防止対策に対する 私の提言」

◎応募方法は

普通はがきに提言の要旨、応募者の住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、職業、電話番号を記入する。

◎しめ切り

昭和五十一年一月十日

◎あて先

新潟市一番堀通り 県庁前
交通安全対策課

なお不明の点がありましたら役場企画課へお問合せください。

農業委員会選挙人名簿について 一月十日必着!!

川口町農業委員の選挙人名簿は毎年一月一日現在における、有選挙権者を各世帯より、申請していただくものであります。

昭和五十一年一月十日までに提出していただく申請書は、実質的形式的に審査を行なうものであります。が、名簿に登録される者としては、次の要件を満たしている者とされます。

- 一、川口町に住所を有する者。
- 二、昭和五十年十二月三十一日現在で満二十才以上の者。
- 三、十アール以上の農地につき、耕作の業務を営む者、及びこれに同居している親族（その配偶者）で耕作に従事する日数が六十日以上である者。

農業委員会では提出された申請書について、必要な事項が全部記

あなたも詩吟をやってみませんか。吟詠会では昨年九月から第一期の練習会を福祉センターで行なってきました。毎週水曜日午後七時半から十時まで今年一月二十一日より行ないます。

講師には長部晚風先生です。長部先生は川口小学校、中学校に勤務されたことのある方です。詩吟、謡曲、民謡なんでもお教えください。入会金は一〇〇円、会費月五〇〇円です。ご希望の方は丸山デンキ商会（☎二〇四四）までお問い合わせください。

- ### 謹んで新年のお祝いを申し上げます
- ◎町長 星野輝政
 - ◎収入役 岡村賢吾
 - ◎議会議員
 - 議長 上村正雄
 - 副議長 江島 啓
 - 青柳 弘 小林 広吉
 - 広井 松雄 関 市作
 - 星野 誠一 覚張 定一
 - 喜多村喜平 関 登代一
 - 大淵竹太郎 広井 吉夫
 - 上村喜平治 山崎 良治
 - 星野喜勇平 小見 昇司
 - 古田島正則 網 直太郎
 - ◎監査委員
 - 大淵 寅松 江島 啓
 - ◎農業委員
 - 広井 松雄 森山子之吉
 - 喜多村 勝 網 直太郎
 - 浅間十四三 小見 芳雄
 - 広井新太郎 森山 太吉
 - 阿部熊治郎 星野 誠一
 - 鈴木 時起 小林 清吉
 - 星野 正作 山田 政一
 - 関 新作
 - ◎教育委員
 - 丸山 省三 桜井 利男
 - 関 誠一郎 星野 一弥
 - ◎選挙管理委員会
 - 大淵 有澄 横 道隆
 - 堀沢 政栄 森山 平八
 - ◎民生委員
 - 喜多村喜市 村山 道龍
 - 山吉 玄蕃 中林 友次
 - 松村 昭次 関 夏代
 - 小宮山豊次 久島 芳樹
 - 山田 米三 阿部 幸吉
 - 横 好子 星野 房吉
 - 大淵 広吉 水落 トク
 - 石坂キクエ
 - ◎社会教育委員
 - 大淵 寅松 丸山 池治
 - 内藤 フミ 小西登久二
 - 網 富兵 岡村 芳夫
 - 志賀 雅雄
 - ◎学校長
 - 泉水小学校校長 志賀 雅雄
 - 川口小学校校長 依山 精治
 - 田麦山小学校校長 樋口 保富
 - 木沢小学校校長 三本 毅一
 - 川口中学校校長 岡村 芳夫
 - 田麦山中学校校長 鈴木 貞夫
 - ◎公民館長 保科 清
 - ◎地区公民館長
 - 喜多村 隆 古田島莊平
 - 金山 昭英 山田 英夫
 - 丸山 聖浄 阿部 浩衛
 - 小林三千三 大淵 継蔵
 - ◎文化財調査審議委員
 - 山吉 玄蕃 中林 宗衛
 - 中林 稔 星野 高慶
 - 丸山 池治 星野 武夫
 - 古田島領市 久島 芳樹
 - 大淵 継蔵 阿部 幸吉

健康でしあわせな年に



川口町長 星野輝政

希望に満ちた昭和五十一年の新春を迎え、謹んで町民の皆様にお慶びを申しあげます。過ぎ去った年を振り返りかえって見ますと、昨年は多事多難な年

でありました。国内におきましては戦後三十年來続いてまいりました高度経済成長が昭和四十八年十月の石油ショック以来様相が一変し、昭和四十九年度の経済は戦後初めてマイナス成長となり、更に昨年は不況の嵐が日本列島全域に吹き荒れました。町収入の約八〇パーセントを国県の補助金、交付金並びに起債等に依存している当町にとりましては、この不景気の風は特にきびし

いものがありました。しかしながら町民各位のたゆまざるご協力により昭和四十九年度から着手をいたしております統合中学校の建設も予定通り進捗し、本年四月からは、いよいよ新校舎での充実した教育が受けられる運びとなりましたことは誠に喜ばしい限りでございます。まして衷心より感謝を申しあげる次第でございます。さて、私は昭和四十二年に町政を担当させていただいて以来、常に調和と均衡のとれた豊かな活力のある福祉町の実現を念願し、農工商全を擁護し更に社会資本の整備充実を主体として事業を推進してまいりましたが、お蔭様をもちま

してその効果が今、ようやく現われてまいりました。過去二十余年過疎化をたどってまいりました当町が昨年は初めて人口が増加をいたしました。これは工場誘致による町外流出人口の減少と財政的には苦難の連続でありましたけれども道路網の整備や各地区に集会所等生活改善施設の整備充実を図ってまいりました結果、町民の愛町精神の高揚と関係各位のご理解を得られたものであると確信しております。新年、テレビ等で報道されておりますとおり本年も経済的には容易でない年のようにありますが、中学校跡地の利用計画をはじめ上

越新幹線並びに開越自動車道の建設によって到来する高速交通時代に対処するため、町民一人一人の身になって、きめこまかい行政を推進することはもとより、従来築かれてまいりました基盤を更に充実、拡大し未来永劫にわたり悔いのない健康にして明るく豊かな、住みよい郷土の建設に渾心の努力をいたしてまいる所存でございますので、どうか町民の皆様におかれましても特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ともに皆様方のご健康と限りないご繁栄とご多幸を心から祈念して年頭のご挨拶といたします。

づくりへ 総意を!!

定着するスキー客



スキー場開場以来四年、ようやくスキー客が固定しはじめています。雪国の暗いイメージを吹き飛ばし、これをうまく利用したいものです。川口スキー場では、スキー教室や、その他の行事を計画して愛される川口スキー場に……とイメージアップをはかっています。

変わる町の姿



和南津地区新幹線工事

日本海時代と言われ、裏日本の開発に重きがおかれ、新幹線や開越自動車道が着手され、ゆるやかに変わりを追われていきます。農業が重視されはじめたと言っても農地はつぶされる一方です。町をどのように変えてゆくべきかは、まさに町民一人一人の自覚に待たなければなりません。

1976年 明るい町 町民の

統合ま近い 中学校

今春四月には、いよいよ統合中学校の開校です。子どもたちにとっては待ち遠しい春です。財政ひっ迫の中を、この建設には多くの費用が投ぜられました。郷土の明日を担う子どもたちの健康と、強固な精神をつちかう本物の教育を期待したいものです。



生徒を待つ生徒玄関

年頭にあたり

議会議長 上村正雄



あけましておめでとうございませす。昨年は、わたくしどもも議事人にとりて町民のみなさんから選挙によって信託をいただいた年であり新しい年を迎えて一同が自覚を新たにいたしております。

昨年よりも多事多難で国においてもインフレと不況の中で、経済のたてなおしが完全にされないままに越年しなければならず、この状態はこれからも続くだろうといわれておりますが、こうした現実をふまえて、ほんとうの生活安定と福祉の充実とはなんであるかをよく見極めながら、町政のあり方を考えなければなりません。不況の中で住民の生活を守り抜くには国はもとより町政においても不況に対応した施策で町民の要

望に答えることが、政治にたずさわる者の責任であり、また町民相互の連帯による協力も大切なことで、この際、行政も住民も原点にかえて反省すべきは直し、点検して社会に協力することが必要であると考えます。今後はますます町民のみなさんの町政に対する深い関心と協力が必要であり、議会に対するご助言をいただきたいと存じます。議会は今年に町民の立場に立つて、よりよき行政がなされるよう時には執行者との協調を強め時には監視抑制をしながら、常に町民の幸を念じつつ住みよい川口町を育て、昭和五十一年を輝かしい年にするため全力を傾けたいと念願してやみません。

熱望される地区活動

町民の生活に、心のうるおいと暖かい心の触れ合いを求めると望が高まっています。互いに高め合う活動、地区館活動は、地域のみなさんの活動です。スポーツ活動やレクリエーション活動、学習活動は、生活の一部です。もう一度地区館の活動を見直してみたいものです。

中山地区館のさいの神行事



地区公民館はみんなの茶の間。現在、八つの地区館があり、八人の地区館長さんが任命され活動されています。活動の場は各々の集会所や公民館ですが、地区館長さん一人では奮闘している所が多いようです。また支部には分館長さんもおいでしている所もあります。まだまだまだほくは20代

東部地区館での体力テスト



地域の課題や、集会所活動などについて、みなさんの力で地区館を盛りあげて行きたいものです。社会教育は自己教育・相互教育の場です。自分たちの村を守り育てる心の連帯の場です。子どもたちも、若い人も、お父さん、お母さん、おじいちゃんもおばあちゃんもみんなで語り合える茶の間をつくって行きましょう。



広報かわぐち

No.31

1月号

発行人 川口町公民館長 清
保科 櫻井 兵治
編集人 櫻井 兵治

地区館活動紹介

田麦山 地区館

田麦山地区館(大洞継級館長)では、四十八年四月から毎月、新聞「たむぎやま」を発行しています。

この「たむぎやま」は一つの欠号もなく足かけ四年を迎えます。最初はガリ版を初めて書く人たち、道具も何も無い所で始め、町公民館の協力を得て一号を出したものでした。

編集部員は常時十名くらいで互いに分担して記事を集めています。紙面はB四版でガリ印刷、内容はトップ記事は社会問題、古老を訪ねて、新婚訪問、山びこ、投稿短歌、その他、時季に合わせた特集を組んだり多彩な編集、その努力には頭が下がります。

地区館では地区総代会の協力を得て印刷機を購入、地区のみならずからも全面的な支持を受け、只今34号を編集中です。

編集会議や印刷局は生活改善センターにあり、投稿箱は診療所の前に手製の白い箱を備えつけました。

「毎月、二通以上の投稿がありますが、もっともっと沢山の投稿が欲しい……」との編集部員の声です。

●郷土出身の人へ郵送
印刷部教は三百枚、固めのイン

クを力いっぱい、冬でも汗を流しながらローラーを押している若者たち、裏表の両面刷りは技術的にも難かしいのですが、一号一号、技術にも進歩の跡がうかがうことができます。田麦山、小高を合わせて二百五十戸ですが、町外に出ている方で購読希望する方には、年間六〇〇円で郵送しています。



初代部長は森山正夫さんで、現在水落深さんが二代目の編集部長。「今後はもっともっと地区のみならず自身の身近なものを取りあげてゆきたいと思えます。ようやく築きあげた。みんなの新聞たむぎやま。の火がいつまでも消えないよう頑張ります……」との水落さんの決意でした。

地区館活動は他にも青年や、婦人の活動、スポーツの活動など段段に盛んになりつつありますが、

「たむぎやましんぶんはこの三年間に青年会の発足、バレーボールクラブ、駅伝チーム、野球チームなど、直接、間接に育ててきた実績があります。よりよい村づくりのためには、地域のことに関心をもち、地域をよくし、自分を高め、ゆく活動が大切ですので、編集部に大いにやっていただくつもりです」と大洞地区館長。

●現在の悩みは……!

「タイプ印刷にしたいこと、印刷技術を向上させたいこと、町外者にもっと郵送したいこと、編集部員をもっと増やしたいこと」と水落さんは語っています。なおこの編集部員は好きでたまらないという、ボランティア精神で地区館活動の一翼を担っています。このような活動こそ明日の川口を背負ってゆく、大きな力となるものと信じます。社会を向上させると同時に、自己を向上させる活動こそ、社会教育の真の姿ではないでしょうか。

たむぎやま新聞の詳しいことは、田麦山支所にお問い合わせください。

柔道会よりお知らせ

柔道会の活動は今年三月末までお休みです。四月から練習を始めますので、みんなで参加してください。

郷土の古跡めぐり

武道窪 石動神社

当村鎮守石動神社ハ今ヨリ三百余年前人皇第一百一代靈元天皇ノ御宇(紀元二、三二七・西暦一、六六七)寛文七年六月ノ創立ニシテ當時ハ二間四方ノ萱葺屋根ナリシモ其後(年代不詳)現在ノ神殿ニ再建セラル祭神ハ伊弉諾尊、伊弉册尊天日一根命、大國主命ヲ台祀サル、昔ヨリ魚沼郡石動五社ノ一二列シ息災延命又縁結ビノ神ナリ。



おわび

●広報二十九号の決算額才八億七千九百二十七万二千円、才出八億五千四百九十六万二千円差引き二千四百四十九万九千円と訂正します。
●同じく二十九号、三頁の交通事故証明書の手数料は四百円、運転経歴証明書の手数料を六百円に訂正します。
●三十号、四頁の監査委員は江島啓氏とありましたが、開登代一氏の誤りですのでおわびして訂正いたします。

川口町の明日を語る

司会 昭和三十三年町制施行以来既に約二十年を経た川口町は、恵まれない立地条件や経済条件を克服して発展を遂げて参りましたが、一方では過疎を招き、目まぐるしい社会情勢の中に立って、今後の行く手は必ずしも坦々たる道ではないと考えられます。

ここに昭和五十一年を迎えるに当り、川口町の行政をはじめ、産業教育等直接その衝に当る方々、指導的立場にある方々からお集り頂き五十年代の川口町発展についてご意見をいただきたいと思ひます。

先づ農業について

星野(誠) 最近の農業の実態は十年前に比して大きな変化が見られる。川口町一、五〇〇世帯の内農家戸数は九三二戸、内専業十八戸第一種兼業三二〇戸、第二種兼業六九四戸で、第二種兼業が十年前の約二・五倍で一種二種が逆転している。川口町の農家は町全体の約五六％であるが、その殆んどが農外所得にたよらねばならぬ現状である。然も、減反政策の影響により、農業後継者が少いこと、生産意欲の減退、又都市化に伴う農地の転用、生産調整と農地の問題等大きな課題である。

上村 第二種兼業が増えたことを転落と見なくともよいのではなからぬか。農外所得であっても、収入のふえることはよい事だ。耕地の問題にしても、川口町

大測 日本は農業は基盤が劣弱である。自給の方向を進めるには土地基盤の整備が行われなければならない。現在の小農家は皆貧困世帯といつてもよい。

山吉 雪国では稲作だけが採算に合うのであって、畑作奨励を主とすることはできない。又現在錦鯉の収益が多い事実からすれば、これを奨励しなければならぬ。又工場誘致については客細下請工場ではなかなかやってゆけない。

川上 何よりも生産意欲の減退が問題だと思ふ。西倉の場合は、生産物が組合を通してすぐ換金できるので張り合が持て、自然

出席者(敬称略)	
収入役	岡村 賢吾
教育長	古田島 正
農協委員長	星野 誠一
農協組合長	星野 徳衛
民生委員	大測 寅松
文化財審議員	村山 道電
中学校長	山吉 玄蕃
婦人代表	岡村 芳夫
青年代表	岡村 百合子
青年団長	川上 清一
司会	中林 浩
公民館長	保科 清

にムードが高まっている。今後とも農業青年の生産意欲を高めると共に商品価値を高めるよう考慮して集約農業に取り組みたいと思ふ。

上村 農家は自家菜園的な栽培を行い生産物の換金の習慣がないため商品価値についての知識が不足である。とれた物は何でも金に換えるようすすめていく。特産物をつくり出すことはなかなかむづかしい。又量がまとまらなければ駄目だ。そのためには生産団地化や、種子どり農業などだろうか。又遠い山地の耕地にはマタタビなどだろうか。

川口町は土地が狭い。どのよう

的に研究する事が重要だ。単に農業だけでなく、教育・文化・観光面など総合的な計画がなければならぬと思ふ。

古田島 農外収入に依存しなければならぬ状態は高度成長時代は可能であったが今後はどう変って行くか、農業をもう一度考え直して見なければならぬ。西倉の例でもわかるように、人の育成が重要である。

岡村(芳) 農業高校を訪れた折、農高進学者が非常に少くなったことを痛感した。それは農業高校を卒業しても職場がない、土地がないことに原因していると思ふ。

岡村(百) 西倉のお母さん方は前から農事に非常に熱心であった。西倉が現在のようにならぬ方が非常に熱心に取り組んでいるのはこうしたお母さん方の地味な積み重ねが大きいと思ふ。家庭の考え、家庭教育がいかに大切であるかがわかる。

星野(誠) 岩出原でも若い人達が農業研究会をはじめているが、若い人達が農業に関心を持って来ていることは誠に頼もしい。

大測 山地の多い川口町では農業の外に林業に力を入れなければならない。不用の薪炭林を伐採して段切り植林などだろうか。

岡村(芳) 大島村は林業に力を入れた実績に立派な植林を行っている。上村 林業にしても耕地造成にし

成人の日は 国民年金へ 加入の日

一月十五日には、全国各地で成人式が催されました。

日本に住む日本人は、二十才になれば、国民年金の被保険者になることに、法律で定められていますので、あなたがまだなら、いままさに加入手続きをしてください。加入すると、美しい年金手帳が交付されます。これこそゆたかな国際社会人へのパスポートです。

年金は遠い未来を守るだけではありません。加入して一年たった後は、交通事故、病気などで思わぬ重度障害を受けると、治るまで、障害年金が支給されます。

また、働く父を亡くした家庭には、母子年金が、さらに両親が早死すれば、お子さんに、遺児年金が支給されます。そして、あなたが六十五才になれば、老後をゆたかに守り取ります。

最近の日本は、世界でも指折りの長寿国になりました。したがって、老後の生活を考え、若い時から準備をしておくことが必要です。

国民年金は、欧米なみに進歩した物価スライド制を採用していますから、移りかわる物価に年金額

でも先づ薪炭林の整理が先決であるがこれがなかなか大変である。観光農園とか商業農園なども考えてみてはどうだろうか。

川口町では、青年層が少なくなっている訳であるが、現在川口町の青年団はどうなっているか。

めざめる青年活動

中林 各部落青年会で、それぞれ活動しているが、川口町青年団は五十年六月に発足したばかりで、団員は約七〇名、田山、木沢、相川、東部、和南津が中心で、行事もほぼ計画通り実施している。まだ目立った活動はないが、今後は自分達の永住するこの町を徐々によくしてゆく、若者の住みよい社会を作ること

会社組織が三十一社で他は個人経営である。商業はほとんど町内消費に支えられているが、工業面では、仕事の四〇％は町外から請けている。これは職人が多いこと、技術が優秀なため特に左官は優秀である。兎に角近隣どこにも負けない職人の町といえる。

商店は町内消費に対するサービスが主体であるが、対象の大部分は農家で米の値段が高いと売れ行きがよいといったように農家が豊かであれば商家も、うるおう。又新幹線工事関係で酒、タバコの売れ行きが大きく伸びた。

小千谷、堀之内、遠くは長岡まで買い物に行く傾向が強いと思ふが……。又外来商人に対しては……。

古田島 畜産試験場ができる頃、高校誘致の動きがあったが、現在には堀之内高校ができ、加えて中学校卒業生の減少等でむづかしい。時代の変化、人口増加以外にこのことは考えられない。鉄筋高層住宅を作ることなどどうだろうか。

岡村 川口は交通上どこへ行くにも便利だから住宅を作るに適している。

山吉 ベットタウンとして人口増をはかるのもよいが、公共施設がなければ人口増は望めない。このことから中学校の跡地を公共施設に残したらどうか。

古田島 福祉センターの利用度が非常にのびて来ている。人口が増えれば当然公共施設も考えねばならないが、将来幼稚園の義務制、その他いろいろの面から研究しなければならぬ。

山吉 よい町にするには若者が沢山いなければならない。若者は若者の夢があろうが、町への要望をどしどし出していったらよいと思ふ。

大測 集まる、結ぶ、学ぶというプロセスです。それによつて目的別のグループはどうか。

中林 目的別のグループもいくつかあって夫々活動しているようです。大いに援助したいと思ひます。

星野(徳) 小千谷、堀之内、長岡など他町村に出向くのは事実で、重い食料品は別として、衣料品などの買い物が多いと思ふ。一つにはショッピングを楽しむという心理的な面もあるかと思ふが、商人としてもっと勉強しなければならぬ。

最近商工会青年部が熱心に研究しているのが将来が楽しみです。総合的な観光農業、或は教育施設等を通じて町の発展を考えねばならぬと思ふが、高等学校その他の学校を誘致出来ないのか。

村山 四九年度社会福祉年金の受給者は五七一名で金額は約三千万円、生活保護家庭は年々減少しているが、支給総額は約二千八百万円である。

今後の福祉の課題は金銭による福祉というよりは精神的な心の福祉をすすめるなければならぬと思つて研究している。

最後にしめくりの意味で収入役さんからお願ひします。

岡村(賢) 行政執行者としては、

救急車の 利用は正しく

「一一九番」で落ちついて

不慮の事故、急病などで救急車を呼ぶときは、「一一九番」で、次のことを簡単明瞭に落ちついて知らせましょう。

- (1) 所在、目標(目標のないところは案内人を出す。)
- (2) どんな事故か
- (3) どんな状態か
- (4) 傷病者は何人か

商工業

星野(徳) 川口町の商工業をみると